

# 2018年 西日本豪雨災害時における 「岡山県のストーマ保有者災害対策の会」 の活動報告

—事務局・代表販売店・介在拠点病院の視点から—



岡山県ストーマ保有者災害対策の会



# 当 会 の 概 要

- ・ 当会の発足は2012年
- ・ 目的は岡山県内における災害時において、地域医療関係者及びストーマ用品取り扱い業者との連携を推進し、ストーマ保有者の排泄管理を支援すること
- ・ 当会は岡山ストーマリハビリテーション研究会（1983年～）の内部組織に位置づけ
- ・ 会長は岡山ストーマリハビリテーション研究会の代表者
- ・ 当会の事務局は岡山ストーマリハビリテーション研究会の別に設置



# 事務局の設置

- ・事務局代表者は医師、事務局員は事務員、医療従事者
- ・役員は皮膚・排泄ケア認定看護師、医療従事者、  
ストーマ用品取扱い業者
- ・収支は岡山ストーマリハビリテーション研究会に属す
- ・年に2回のミーティングを事務局員、役員は行い、  
方向性を統一する



# —事務局の活動—



# 「災害支援法」発令後の用品提供を自治体に確認

ストーマ用品セーフティネット連絡会



災害地の用品販売店



ストーマ保有者、病院、自治体、避難所等

**困難と言われた**

そこで

- ・ 災害時には病院が中心となって活動する必要性がある
- ・ その中心となる「災害時介在拠点病院」の設置が必要と考えた

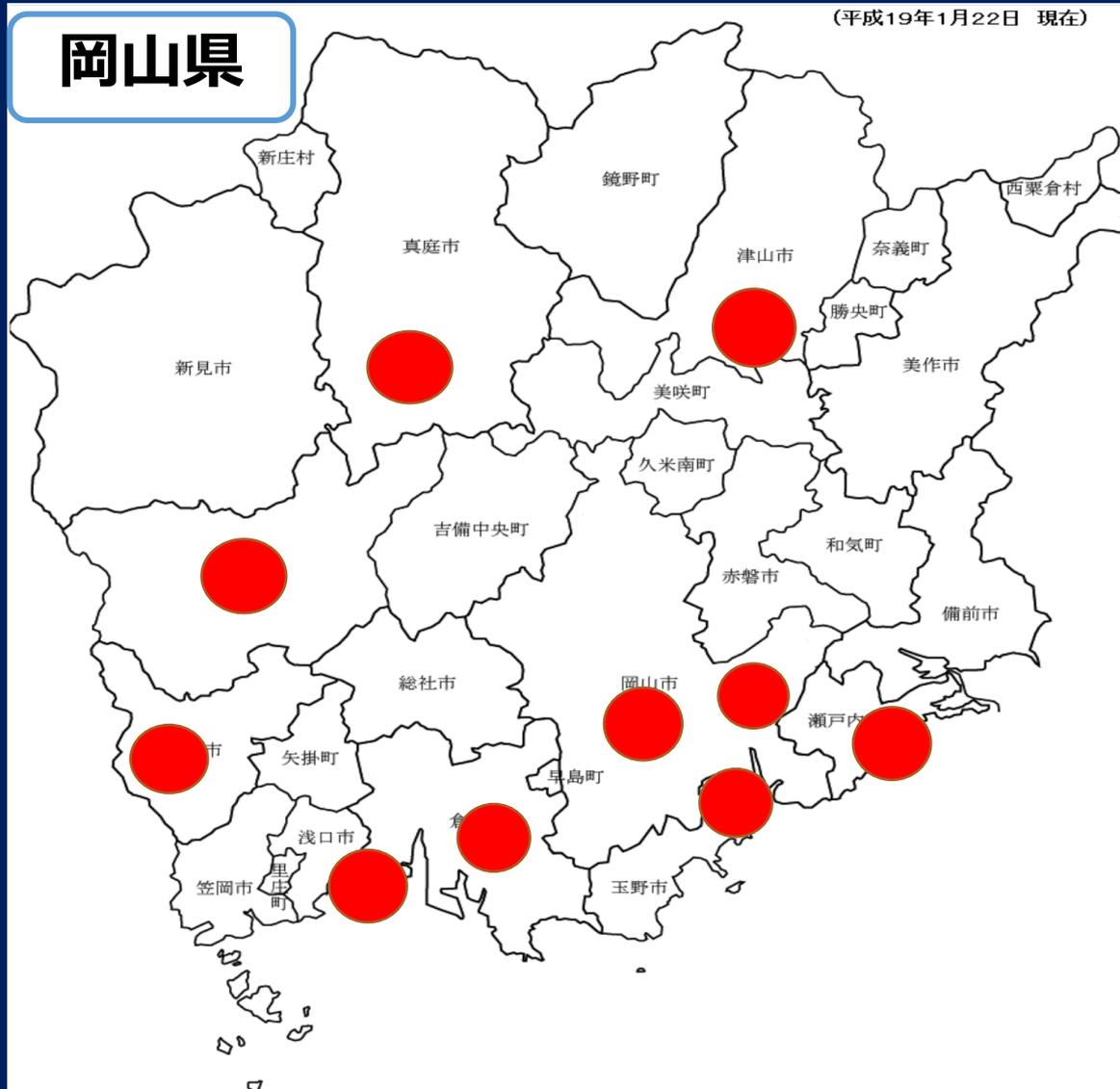


# 「災害時介在拠点病院」の設置の条件

- ✓ ストーマケアに精通した看護師が常駐している
- ✓ 県の東西南北に設置する
- ✓ 施設長の許可を得る
- ✓ 県の災害拠点病院とは異なる



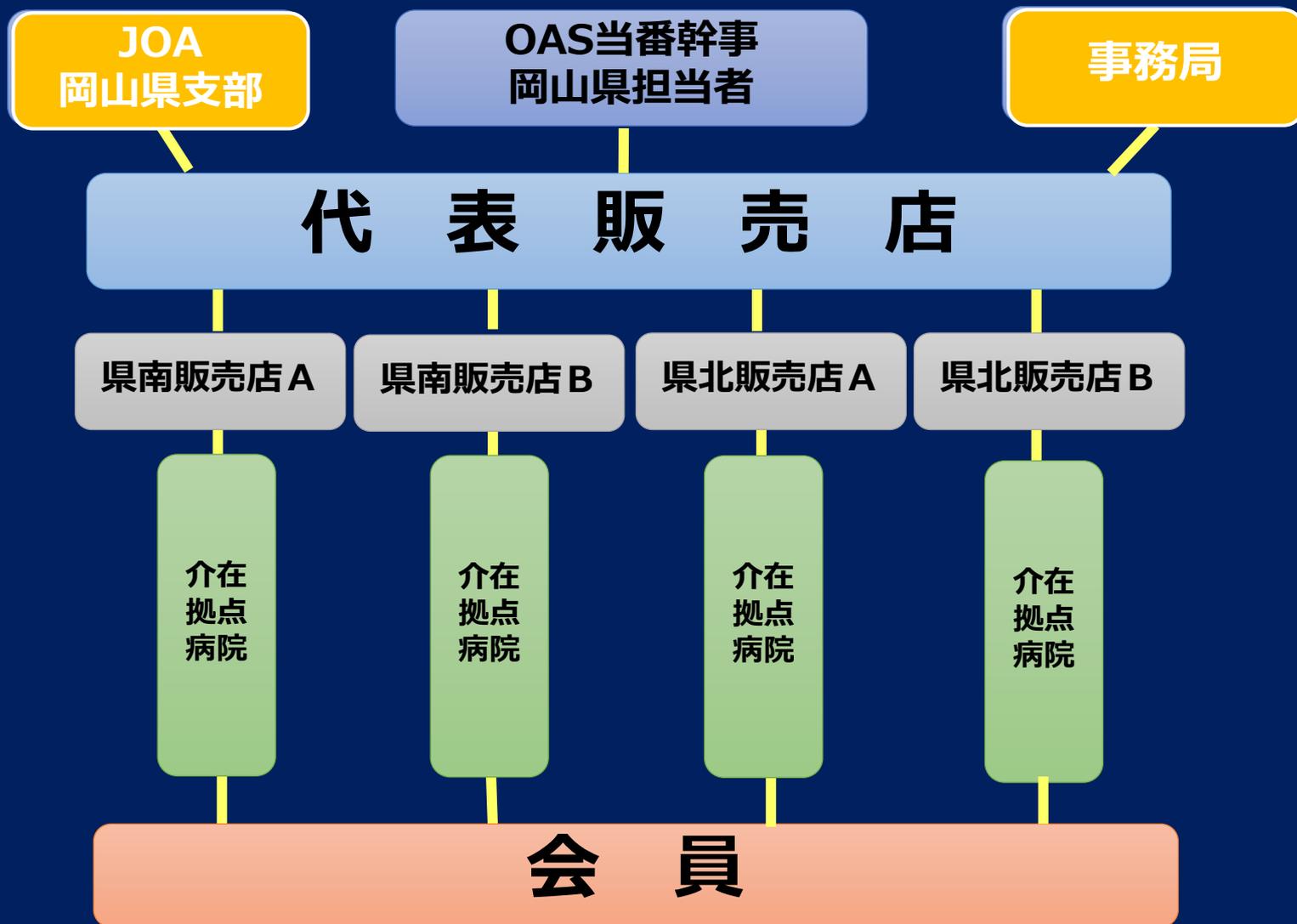
# 介在拠点病院 10病院決定



岡山県内の  
ストーマ保有者  
約4000人



# 災害時 装具に関する連絡体制の構築



# 災害時の連絡についてのポイント

- ✓ 情報は代表販売店に集約する
- ✓ 連絡方法は電話又は、岡山県ストーリーリハビリテーション研究会のホームページの掲示板
- ✓ 掲示板は承認された当会員のみ使用、閲覧できる



# 岡山県ストーリーナビリテーション研究会の ホームページの掲示板の訓練を行う

**No.25:** 投稿者: **役員**  2 2018/03/11 8:45:15

おはようございます。問題なくログインできました。  
毎日山陽新聞見えています。

**No.24:** 投稿者: **事務局**  2 2018/03/11 7:45:38

おはようございます。本日は連絡訓練の日です。



# 2018年7月6日 西日本豪雨災害発生

## 特別警報発令

- ・ 河川の氾濫
- ・ 崖崩れ
- ・ 記録的な大雨による甚大な被害



直ちに掲示板で情報のやり取りが開始された



# 災害時の事務局の行動

## 1. 掲示板に情報が一元化出来るようにした

- ・メーカーとは直接の装具の連絡は控える
- ・他院からの連絡・相談も掲示板に載せる
- ・代表販売店と他の会員とのやりとりは、見守る

## 2. 代表販売店と連携

- ・被災状況、装具の必要状況を確認し合う



# —代表販売店の災害発生後の活動—



# 事務局・介在拠点病院との連携

1. 掲示板から情報の集約

2. 装具の手配（依頼後5日以内に装具提供した）

3. 必要な情報の提供

「災害救助法」適用発令を掲示板に記載した



# ストーマ用品セーフティネット連絡会との連携

1. 岡山県の被害情報を提供した
2. 「災害救助法」適用発令になり装具の依頼をし、  
O A Sからの装具提供は14件



# オストミー協会岡山県支部との連携

1. 安否の確認
2. 「災害救助法」適用発令の情報提供



# 装具販売店との連携

1. 災害の状況を共有する
2. 「災害救助法」適用発令の情報提供した
3. 必要時、ストーマ保有者の情報を共有し  
装具の提供をスムーズに行なった



# —介在拠点病院の活動—

介在拠点病院10施設の災害時の活動状況について  
アンケート調査



# 調査方法

- 調査期間：2018年9月
- 調査対象：介在拠点病院
- 調査方法：アンケート用紙を配布し自由回答とした  
9病院回答
- 調査内容：災害時の施設内活動状況



# 結 果

## 1) 自施設の災害対策本部との連携状況

### 【連携あり】 5施設

- ・ ストーマ保有者関連の問い合わせ先を代表WOC1名で院内アナウンスした
- ・ 災害対策本部、医事課、看護部、外来、病棟にマニュアル配布した
- ・ ストーマ外来担当医師と紹介状無しでの診察の了解された
- ・ 看護部長を通じて、院内災害対策本部への伝達依頼した

### 【連携なし】 4施設

- ・ 自宅が被災で出勤困難なため、連携が取れなかった



## 2) 自施設内での装具対応は可能ですか

【対応可能】 7名

- ・ 在庫確認をした
- ・ 時間外でも装具提供できるように準備した
- ・ 関連部署にストーマ装具を配布した

【対応不可】 2名

- ・ 病院のストックは殆どないので、対応困難



### 3) 介在拠点病院間の連携状況

#### 【連携あり】 4名

- ・ メールや電話のやりとりを行なった
- ・ ブロック内担当者の安否確認を行なった
- ・ 掲示板からの情報収集した

#### 【連携なし】 5名

- ・ 販売店との連携で対応できたから



## 4) ストーマ外来での被災者への対応状況

【対応あり】3名

- ・ドラッグストア店長より「剥離剤が無いとストーマ保有者の来店」に対応
- ・被災地からの転院したストーマ保有者への対応
- ・被災されたストーマ保有者の代わりに購入販売店に連絡をした



# 今後の課題

- ▶ 介在拠点病院を中心に、各ブロック販売店との連携強化
- ▶ 代表販売店に情報を集約できる掲示板の使用練習
- ▶ 施設内での周知の継続
- ▶ ストーマ保有者への災害時対策指導

